

テーマ：この一年を振り返って主にただ感謝すること

○主に感謝して：主の前に相応しい二つの態度

1. \_\_\_\_\_に溢れながら(1-3)

●“喜び”の三つの具体的な形：

a) 喜びの\_\_\_\_\_を上げること

※マタイ 21:8-9

「…群衆のうち大ぜいの者が、自分たちの上着を道に敷き、また、ほかの人々は、木の枝を切って来て、道に敷いた。そして、群衆は、イエスの前を行く者も、あとに従う者も、こう言って叫んでいた。「ダビデの子にホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。ホサナ。いと高き所に。」」

b) 喜びの\_\_\_\_\_を捧げること

※申命記 28:47-48

「あなたがすべてのものに豊かになっても、あなたの神、主に、心から喜び楽しんで仕えようとしないので、あなたは、飢えて渴き、裸となって、あらゆるものに欠乏して、主があなたに差し向ける敵に仕えることになる。主は、あなたの首に鉄のくびきを置き、ついには、あなたを根絶やしにされる。」

c) 喜びの\_\_\_\_\_を歌うこと

▶モーセ(出エジプト記 15:1)

「そこで、モーセとイスラエル人は、主に向かって、この歌を歌った。彼らは言った。「主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を収められ、馬と乗り手とを海の中に投げ込まれたゆえに。」

▶ダビデ(2サムエル記 22:1-2)

「主が、ダビデのすべての敵の手、特にサウルの手から彼を救い出された日に、ダビデはこの歌のことばを主に歌った。彼はこう歌った。「主はわが巖、わがとりで、わが救い主、」

●“喜び”に繋がる神様の二つの姿：

1) 神様は私たちの\_\_\_\_\_ (3a)

2) 神様は私たちの\_\_\_\_\_ (3b)

※ヨハネ 10:11

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」

※1 ペテロ 2:24-25

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。」

2. \_\_\_\_\_に溢れながら(4-5)

1) 「主はいつくしみ深い」

※ローマ 8:28

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

2) 「主の恵みはとこしえまで」

「神は『愛』です。この愛は『永遠に続く』ものです。…これまでも神は愛されていたのでしょうか？もちろんです。それなら、この先もいつも愛してくださるでしょう。神の本質そのものが愛なのです。あなたは愛されることがなくなると心配する必要はありません。」(ジェームズ・ボイス)

3) 「主の真実は大いに至る」

※2 テモテ 2:13

「私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。」